



第5期生 卒業 祝 おめでとう!

彼らの中学1年生の頃の写真です。ずいぶん大人になりました。

アバンツァーレ仙台SCジュニアユース第5期生の皆さん。卒業おめでとうございます。君たちがアバンに入った時のコーチの第一印象は「小粒で、飛び抜けた選手がいないな」「大人しい選手が多いな」というものです。また、君たちにとってやりがいがあり、プレッシャーともなったのが、先輩たちが残してくれた「県1部リーグ」というステージでしょう。そんな状況の中、意外に(笑)好成績を残した君たちですが、何よりすばらしかったのが、そのサッカースタイルや練習に取り込む姿勢、仲間意識です。それは今後アバンの伝統となるに違いない、何よりとてもかっこ良く、美しいものでした。君たちが残した伝統を後輩は喜んで受け継ぐことでしょう。あの美しいサッカーはいつまでもこのチームで生き続けます。

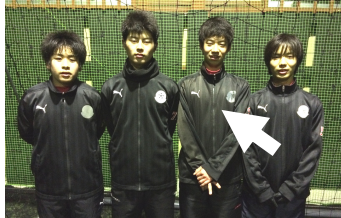
アバンがわらばん ジュニアユース 第8回

2015年3月号

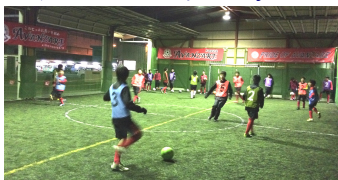


中学3年生は受験も大詰め。

受験生の彼らに話を聞くと、一樣に「アバンの自主学習の取り組みが良かった」「あの取り組みのおかげで、受験の追い込み時にも、リズムを持って勉強に取り組むことができた」といいます。また、学校の「部活」の大切さも強く感じたようです。授業態度もそうですが、特に「提出物を100%しっかり出すべき」ということは、後輩にも本気で伝えたいそうです。これもアバンの取り組みに通ずるところがあります。まだ受験が終わっていない選手もいますが、自主練習を怠らない選手もいます。「文武両道」をやり切った時、「合格」以上の「誇り」を手に入れることができるはず。頑張れ! 苦しい時こそ、その選手の人間性が表れる。今がその時だ!!



受験生も練習に参加してます! 高校入試の合格が決まった子も!



高校サッカーで輝くため、受験のリフレッシュのため「文武両道」

「ジュニアユースがわらばん」前書き

「ジュニアユースがわらばん」は中学生対象なので文章はあえて多め。今後も大人も子どもも楽しめる充実した内容のクラブ会報誌を目指していきます! ところで今年度ものこりわずか。とうとう中学3年生は卒業です(T.T) 本当は一人一人のたくさんの物語を紹介したい。ただ千ページ以上の長編になってしまうので...、紙面の都合上、ほんの一部を紹介します。

高校受験合格おめでとう! インタビュー

アバン中3の片岡暖です。僕はこの度、仙台三高を受験、無事合格しました。受験勉強中はなかなか自由な時間を作ることができず、よく辛かったです。でも、自分のため、サッカーのためと思い、受験という試験と必死に闘いました。合格の結果を見た時、信じられなくて何度も結果を見返して確認しました。喜びよりも驚きの方が強かったです。弟の丈には祝福してもらいながらも照れ隠しなのが、自分を馬鹿にしながらかかってきました(笑) これからはまたサッカーに集中することができます。日々トレーニングを重ね、今以上に技術面を向上させ、高校では一年生でレギュラーを勝ち取りたいと思います。今後の備へご期待ください!

そして、期待のルーキーたちが入団!

ジュニアユース8期生が続々入団。来月号で詳しく紹介します!



夢を持とう!



佐藤ひかる君(小4) 大野田SSS所属 ※兄はアバンジュニアユース4期生でした!

こんにちは佐藤ひかるです。アバンジュニアユースはすごくレベルが高く、緊張感があり、何よりも自分自身を高められます。とにかくチームワークが凄くて先輩後輩関係なく接することができ、恐れることなく積極的に自分のプレーをすることができます。僕はそんなアバンで技術を磨き、プレーするのが楽しみです。来年度新入生が入ってくる人数が多いので、レギュラー争いが激しくなりそうです。しかし、僕はそんな争いに負けないために今のうちから高いレベルで技術を磨き、入ってすぐに1年生からレギュラーを勝ち取りに行きたいと思います!

アバンスポーツ仙台SCのその後。

放課後等デイサービス AVANZARE Sports 活動報告

「放課後等デイサービス」とは、小学生～高校生までの発達に心配のある子供や障害を持つ子供を、学校の放課後や休みの日にお預かりし、生活能力の向上や訓練を行うものです。15年間のアバンツァーレで培ってきたスポーツ指導を活かし指導に取り組み、地域社会に貢献する心づもりです。



「アバンツァーレスポーツ仙台SC」のチーム活動がスタート。活動目標は「10月全国知的障害者サッカー競技会に参加」「他の団体との交流を行い、療育の一助とする」です。アバンスポーツの選手活動も2ヶ月目。日に日に上達する彼らにコーチも驚きをかくせません。

前回の「ジュニアユース選手との合同練習」で感じたことが彼らに良い影響を与えています。「相手の目を見て話を聞く」「すばやく行動する」など、サッカー以外の指導が、プレーを向上させています。今は「サッカーノート」や「自主練習への取り組み」も行っています。今後の彼らのますますの成長を期待しています!





(突然ですが)女子マネ紹介!

「リハ」を通じてみんなで成長しよう!

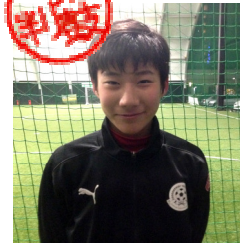
(突然ですが)青木コーチの友達の子を紹介しします。彼女は高校時代、高校のサッカー部の女子マネージャーを務めていました。「女子マネージャー」は男の子のあこがれ(^o^)/ そんな女の子の視点から、サッカーを通じて感じたことや気づいた事をインタビューしました。



「リハ」とは「リハビリ」の略です。練習を休み、体がなまった分、ボールを使わない走りこみや体幹トレーニングを通じて、自分のコンディションを回復、調整する取り組みです。

縁崎未来斗くん(中2)のコメント

「リハ」は練習を休んでしまったとき、自分の体をベストの動きまで持っていく、重要な取り組みです。休んだ後、すぐに練習を開始してしまうとみんなの動きについていくのが大変です。リハをした後の練習はとても調子が良いです。しかし3日や4日と焦るとさすがにボールを使って練習したくなり、気持ち的にも辛くてやりきれないときも正直ありますが、そこを踏ん張ってやりきった後の練習は楽しくてしゃかありません。それにリハをするようになってからみんなで体幹トレーニングをするとき案外にできるようになりました。サッカーのプレー中も身体の当たりでぶれることがなくなり、フィジカル面で自信ができました。何より一番の成果は怪我をしなくなったことです。



アバンの皆さん、こんにちは。青木コーチの幼なじみの遠藤早織と申します。私は高校3年間、いわゆる「女子マネ」だったのですが、はじめはサッカー部ではなく、野球部のマネージャーをしようかな、と思っていました。ただ、野球部を見学したら「雰囲気が良いな」と感じてしまって気が変わってしまいました(^_^)> そしてたまたまサッカー部を見学したところ、みんなが歓迎してくれて…。すごく嬉しかったのでサッカー部に決めました。ということですが、サッカー部のマネージャーになったのは本当に偶然でした。今考えるとラッキーです!はじめは当然サッカーにはまったく興味はありませんでした。ただ、いざ関わってみるとすごく魅力的なスポーツで、ドンドンハマっていきました。今は大好きです。サッカーは奥が深いですね。ちょっとしたことでゲームの流れが変わったり、攻守が激しく変わる展開など、サッカーの面白さが少しずつ私にも分かってきました。サッカーを通じて私が一番感じていたことは「すべてはつながっている」ということです。サッカー以外のあらゆる行動がサッカーのプレーに表れていたと感じます。私は「女子マネ」だったので実際にプレーをすることはありません。だからこそ「雰囲気」には敏感でした。例えば、道具が片付けられていない雑然とした雰囲気の中では、みんなのプレーにもミスが増えていました。その人その人の性格や普段の行動や態度がプレーに大きく影響していたことはとても印象的なことでした。「すべてはつながっている」ことは、今の自分のテーマでもあります。



少し照れませんが、青木コーチのことについてもお話しします。青木君は、すごく思いやりのある人だと思います。自分の事より、他の人の為に一生懸命になれる人です。人が嬉しそうにしている姿を見ている青木君が一番嬉しそうに見えます。まだまだ新米のコーチですが、きっと子供たちに慕われ、素晴らしいコーチに成長するのではないかと信じています。

新・熱血コーチ森田登場!

今春、アバンに新たなコーチがやってきます!

森田コーチプロフィール

- ・出身地は? 北海道
 - ・血液型は? O型
 - ・趣味は? スキー、スノーボード
 - ・好きな食べ物? 肉
- 仙台大学サッカー部に所属しながらも、地元のサッカーチームを指導していました。来年度から本格的にアバンで熱血指導します!



こんにちは!森田コーチです!これからアバンのコーチとして頑張ります!やる気だけは日本一です!小学校4年生の時に地域の少年団の監督から身長が高いという理由で誘われたのをきっかけでサッカーを始めました。源崎コーチや島山コーチと同じ仙台大学を今春卒業します。学科専攻は栄養学でした。今までのサッカー人生の中で一番印象に残っているのは高校サッカー選手権大会地区予選でお互いなかなかゴールを決めることができない中、後半にハーフラインを過ぎたあたりからGKが前に出たのでロングシュートを放ってゴールを決めたことです。そのおかげもあり勝つことができ、代表決定戦まで進むことができました。今までサッカー人生を歩み学んだことの中で一番重要だと感じたのは礼儀についてと整理整頓についてです。特に大学に入ってからの重要性に気づきました。大学に入ってから色々な人たちと関わることが多くなったため、人との接し方が変わりました。そこで自分の課題に気づかれました。アバンのみんなもこれからのサッカー人生の中で礼儀や整理整頓について色々学ぶことがあると思います。その学んだことは今後のサッカー人生の中でがならず生きてくるのでしっかりと習慣づけてほしいと思います。

最後にアバンのみんなに一言!今後サッカーをしていく中で辛くなることもあると思います。そのときはあえて辛い方を選択して下さい。今のうちに辛いことにチャレンジして何事も最後までやりとげられる力を身につけていって欲しいと思います(^o^)/

★川部空輝くんからの挑戦状(延長戦)

アバンジュニアユース「リフティング研究部」では、「サッカーを楽しむこと」「ボールコントロール技術の向上」を活動目標に、日々鍛錬をつんでいます。2月の川部空輝くんからの課題を3月まで延長します。くり返しますが、この課題をクリアした選手には…

「豪華果品」を用意しています。

コーチの前で成功すればクリアです。課題「世界一周(アラウンドザワールド)」※リフティングしながら、ボールの周りを足で回すこと。その、「内回し」→「外回し」→「内回し」つまり3回まわします。実際にやっている動画をホームページにアップしました!アバン公式ホームページの「What new」をご覧ください。



なんと!ジュニアの選手コース、小学4年生の遠藤れい君がこのリフティングの課題に挑戦してくれていました。少しやり方は違っていたみたいですが素晴らしい出来栄でした(^o^)/



卒業生の皆さんへ。

ご卒業おめでとうございます。コーチはみんなと過ごした日々が楽しくなりました。本来ならコーチと選手という関係ですがコーチと君たちの歳が近いということもあり、友達のように接していた事も多かったです。一緒にぶざけて笑い合ったり、練習のときは一対一の中で本気で勝負したり…。とにかく楽しい日々を過ごさせてもらいました。卒業生皆さんが、今後どのように成長し、将来はどんな人になっているのか、想像するだけでワクワクします。一つだけ絶対に忘れてほしいことがあります。それはアバンのみんなと過ごした日々の思い出です。それぞれ振り返ればたくさんのかげがえのない記憶があるでしょう。これは一生の財産になります。特に落ち込んだり、大きな壁にぶつかった時、その思い出が皆さんに力を与えてくれると思います。「アバン」の名の下に、みんな!いつまでもつながっていよう!



青木瑞季コーチ